

身延都市計画道路の変更（身延町決定）

身延都市計画道路中、3・5・3号西小学校通り線外2路線を、次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
幹線 街路	3・5・3	西小学校通り線	身延町梅平	身延町梅平	身延町梅平	約 320m	地表式	2車線	12m	幹線街路との平面交差 2箇所	全線廃止
	車線の数の内訳										
	構造形式の内訳										
	その他										
	3・6・2	総門波木井線	身延町小田船原	身延町身延	身延町梅平	約 1,990m	地表式	2車線	11m 8m	幹線街路との平面交差 3箇所	全線廃止 幅員 11mの区間 1,880m 幅員 8mの区間 110m
	車線の数の内訳										
	構造形式の内訳										
	その他										
	3・6・3	高等学校西通り線	身延町梅平	身延町梅平	身延町身延	約 270m	地表式	2車線	8m	幹線街路との平面交差 2箇所	全線廃止
	車線の数の内訳										
	構造形式の内訳										
	その他										

「区域及び構造は、計画図表示のとおり」

理由は別紙

理由

本町の都市計画道路は、梅平地区（身延町役場身延支所周辺）、身延山久遠寺の門前町である門内地区などの古くからの市街地において、昭和 26 年に都市計画決定され、その後、国道や県道の整備に伴い見直しを重ね、身延駅前通り線や身延バイパスの整備が行われてきた。しかし、本町の人口は減少を続けており、1970 年からの 50 年間で人口は 1/3 にまで減少し、今後も生産年齢人口の減少と急速な高齢化が予測され、市街地の交通量も減少していくことが考えられる。また、本町の北部に位置する国道 52 号沿いの飯富地区への商業施設の建設や下山地区への学校施設の建設等が進み、本町の都市構造が変化してきており、都市計画道路の指定された梅平地区の位置づけが変化し、決定されている都市計画道路の整備の必要性が低下している。こういった状況を踏まえ、令和 6 年 3 月に策定した身延町都市計画マスタープランに都市道路の見直し（変更・廃止）を位置付け、取り組みを推進するものとしており、（都）西小学校通り線、（都）総門波木井線、（都）高等学校西通り線の 3 路線を対象路線としてあげている。

（都）西小学校通り線は、昭和 26 年に市街地を南北に横断する通学橋通り線として都市計画決定され、その後ルート変更や幅員の変更、名称の変更を経て、昭和 60 年に現在の形で決定している路線である。しかし、今後も大幅な人口減少が予測されるなかで、本路線を整備した場合にも令和 22 年の推計交通量は 100 台/日以下となっており、道路ネットワークとして整備の必要性が低下している。また、まちづくりの面でも近接する身延中学校が移転し、沿道の開発も想定されないことから整備の必要性が低下している。将来推計交通量が極めて少なく廃止しても周辺路線への影響は低く、まちづくりへの影響、環境面への影響も低いことから、当該路線全線（約 320m）を廃止する。

（都）総門波木井線は、昭和 26 年に市街地の北側を流れる波木井川に沿って東西をつなぐ身延波木井線として都市計画決定され、その後ルート変更、名称の変更を経て、昭和 60 年に現在の形で決定している路線である。しかし、本路線を整備した場合にも令和 22 年の推計交通量は 100 台/日以下となっており、道路ネットワークとして整備の必要性が低下している。また、まちづくりの面からも河川沿いの山裾に計画された路線であり、沿道を開発することはできない路線であることから、整備の必要性が低い。さらに、整備には山側の切土と擁壁等の設置が必要であり、自然環境や景観への悪影響が危惧される路線である。将来推計交通量が極めて少なく廃止しても周辺路線への影響は低く、まちづくりへの影響、環境面への影響も低いことから、当該路線全線（約 1,990m）を廃止する。

（都）高等学校西通り線は、昭和 26 年に市街地を南北に横断する塩沢橋通り線として都市計画決定され、その後ルート変更や名称の変更を経て、昭和 60 年に現在の形で決定している路線である。しかし、本路線を整備した場合にも、令和 22 年の推計交通量は 100 台/日以下となっているとともに、接続する総門波木井線を廃止する計画であることから、道路ネットワークとして整備の必要性が低下している。また、沿道の開発も想定されない。将来推計交通量が極めて少なく廃止しても周辺路線への影響は低く、まちづくりへの影響、環境面への影響も低いことから、当該路線全線（約 270m）を廃止する。